

私のキャンパスライフ

好きなことができて毎日充実しています！

私はアパレル企画製作部twinkle*に所属し、とても充実した学生生活を送っています。2023年11月に行われた藤花祭では衣装を製作して、モデルとしてランウェイも歩きました。本番までの期間は授業の課題やテストと衣装製作の両立が大変でしたが、その分楽しさもあって、本番が終わった後は達成感を味わうことができました。私は昔から何か製作するのが好きなので、実習が多いこともあり、さまざまな課題に取り組めることがとても楽しいです。また、大学から四条河原町が近いので、放課後友達とごはんを食べに行ったりと楽しく大学生活を送っています。

私の受験エピソード

緊張していたけど、、、

面接が始まるまで緊張して、ずっと話す内容を頭の中で何度も繰り返していました。面接が始まると試験官の方が想像していたよりも優しく、生活造形学科に関することをたくさん教えてくれたので緊張が解けて落ち着いて話すことができました！

私の学科の学び、ココが楽しい！

思い描いた作品が形となり表現できます！

生活造形学科では、アパレル造形、造形意匠、空間造形の3つの分野を横断的に学ぶことができます。造形意匠分野では、Photoshopというアプリを使ってLINEスタンプを作成しました。自分の描いたイラストが作品となり、日常生活に活用できる楽しさがあります。アパレル造形分野では、好きなデザインのワンピースを製作しました。試作、布選び、型紙、縫製まで一連の流れを学ぶことができ、達成感があります。どちらも、作品を制作する楽しさと同時に専門的な知識を身につけられる点が、魅力であると感じます。

京女の先生ってこんな人！

親切・丁寧・優しい先生方がついています

実習では、一人ひとり制作内容が少しずつ異なるため、わからない事もあります。すぐに先生が相談にのってくださる点が心強いと思います。より良い作品となるように、私たちの意見を尊重しつつ、的確なアドバイスをしていただけます。また、授業中に終わらなかった課題については、空き時間にLS(ラボラトリースタッフ)さんに相談することもでき、きめ細かな対応をしていただけるので、安心です。少人数の授業も多くあり、とても距離感が近く、親しみやすい先生が多いように感じます。

私のキャンパスライフ

興味をもったことは積極的に取り組んでいく

学業に励むことはもちろんのこと、学生時代にしかできない貴重な経験をたくさんできるように、興味をもったことは積極的に取り組んでいます。家庭科の中学・高校の教員免許や、専門領域の衣料管理士1級、日本語教師、情報処理士、図書館司書教諭の資格取得をめざして学んでいます。また、今年度はプロジェクトリーダーを務めたり、ボランティアでは、高校の家庭科の授業と部活動に参加させていただいたり、バイトでは塾講師をして、大学生のうちからたくさんの子どもたちと関わったり、教える時のコツを学んだりして

私の学科の学び、ココが楽しい

最大の魅力は互いの価値観と個性の尊重

アパレル造形分野の選択科目として設けられている実習では、自分の好みや体型にぴったり合う服を製作することができ、作品が完成すると、達成感もあり本当に嬉しくなります。また、学科での学びや学科生との交流を通して、自分の価値観や好みとは合わなくても、決して否定的な言葉や態度をとらず、互いのよさを認め合うことができるすばらしさを感じています。専門性を深めることができるだけでなく、互いの価値観や、個性を尊重し合える学科生との学びが、最大の魅力です。

私の卒業論文

『マインドワンダリングと批判的思考態度が創造性に及ぼす影響』

課題中に他のことを考えてしまうというマインドワンダリングと、物事を多角的に検討して判断しようとする姿勢である批判的思考態度が、アイデアを考える創造性とのような関係があるのか調べています。これまでデザインを考える時に、考えることと違うことをしている時に良いアイデアがふと思い浮かんでくる経験があり、それを明らかにしたいと思ってこの研究を選びました。調査やアンケートで得たデータを分析して関係性を調べます。

京女のココが好き！

大学での学びを外に発信できる機会がたくさんあるところが良いところだと思います。生活造形学科では、授業で製作した作品をコンペに出品する機会があったり、授業外でリノベーションのコンペなどがあります。それぞれ違った視点からデザインを考えることができるので、新たな発見があり楽しいです。

高校時代にやっておいた方がいいと思うこと

英語の基礎的な知識固めを早めにしておけば良かったです。京女の英語の入試は、長文と重要な文法を聞かれるといった特徴があるので、基礎が固まっていると解きやすいと感じました。